

令和4年9月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	8	議席 番号	21	氏名	小松 快造 議員	1 / 2
発言項目				要 旨		答弁者
1	日本の農業が抱える問題点について			<p>日本の農業を取り巻く問題は数多くある。日本の農家のほとんどは小規模農家であり、後継者問題がいつの時代も問題視されている。その他、自給率を上げる手だてはあるのか、農家の収益性はなぜ上がらないのか、生産性を上げるためにスマート農業は普及されていくのかなど、様々な問題を抱える農業だが、富士宮市の農業政策について以下伺う。</p> <p>(1) 農家のほとんどは小規模農家である。2020年農林業センサスによると、2015年に1,977千人だった農業従事者は2020年には1,520千人に減少した。この現状についてどのように考えているのか伺う。</p> <p>(2) 新規就農者を呼び込むためにどのような政策を行っているのか伺う。</p> <p>(3) 自給率を上げる必要性について、ロシアによるウクライナ侵攻により日本国内の消費物価が軒並み値上がりし、家計への負担も大きく響いている。海外の状況に影響されず農作物を生産する必要があると考えるが、どのような政策が考えられるか伺う。</p> <p>(4) 食の安全性について、日本人は非常に高い意識を持っている。富士宮市内においても有機農法にて生産している農家が多くなっているが、現在の有機農法農家の採算性はいかがか伺う。</p> <p>(5) 現在スマート農業を実践している農家はどのくらいあるのか、またドローンを使用した農薬散布など新たな取組をしている農家はあるのか伺う。さらに、ドローン操作資格が必要と思うが取得費用はいかほどか伺う。</p>		市長 教育長 関係部長
2	小中学校通学路の危険箇所について			<p>市内小中学校区内の危険箇所について。</p> <p>(1) 毎年市内各小中学校にて交通安全リーダーによる地域の危険箇所の発表会が行われている。各小中学校からの発表箇所は何件ぐらいあるのか。また、洗い出された箇所はどのように対処され、改善された箇所の割合はどのくらいか伺う。</p> <p>(2) 通学路ではない歩道の雑草の手入れはどのタイミングで行われるのか。また、所管部署はどこか伺う。</p>		市長 教育長 関係部長
3	1人1人が取り組む環境問題（その1）			<p>農林水産省の発表によると、まだ食べられるにもかかわらず廃棄されてしまう「食品ロス」は、令和2年度は年間522万トン（国民1人当たり約41キログラム）にも上った。それに対し、食料自給率はカロリーベースで37%だった。食料を廃棄するにはコストがかかる上、焼却する際にCO₂が排出されるため、環境にも悪影響を与えていることが分かる。</p> <p>(1) 食品ロスを減らすための手だては何かあるのか伺う。</p> <p>(2) 学校給食の食品ロス率はどれくらいか。また、対策の手だてはあるのか伺う。</p>		市長 教育長 関係部長
4	富士宮市「ゼロカーボンシティ宣言」について			<p>9月3日に開催された、ゼロカーボンシティ「オール富士宮」フェアについて。</p> <p>(1) 大変楽しみにしていたゼロカーボンシティ「オール富士宮」フェアに参加できず残念でならないが、総合的にどのような評価をされたのか伺う。</p> <p>(2) 来場者数及び年代別の把握はできているのか伺う。</p>		市長 教育長 関係部長

発言 順序	8	議席 番号	21	氏名	小松快造 議員	2/2
発言項目			要 旨			答弁者
			(3) 来場された方々からの要求及び要望はなかったのか伺う。 (4) 次回開催の予定はあるのか伺う。			